

●浜の話題

- 5月11日、藤沢市漁協は、藤沢市の支援を受けて地先のハマグリ資源の増大のため小型種苗（30mm）を、藤沢地先の適地に放流しました。4年後にはかながわブランド「湘南はまぐり」として漁獲されるので、漁業者は大きく育つのを楽しみにしています。
- 5月18日、初声漁協は平成29年度第一回初声地区地域水産業再生委員会を開催し、平成28年度の活動結果報告と平成29年の活動計画についての検討を行いました。平成28年度は、試験的にムラサキウニの蓄養と、見突きによるムラサキウニの除去を行いました。平成29年度も引き続き蓄養試験と除去活動を行うとのことです。
- 5月23日、江の島片瀬漁協では、藤沢市の支援を受けて水産技術センターが生産したサザエ種苗27,300個を、江の島地先の磯根海域に放流しました。同漁協では刺網漁でサザエを漁獲しており、2～3年後には漁獲サイズになるそうです。
- 5月25日、平塚市漁協は、（公財）相模湾水産振興事業団の支援を受け平塚地先にハマグリ種苗21,000個を放流しました。平塚でも、50年ほど前にはハマグリの漁があり、今年3月1日の海底耕運でも花水川河口域で300gのハマグリ1個が採捕されたので、ハマグリ資源の定着に繋がるよう漁業者は期待を寄せています。
- 5月29日、長井町漁協所属の漁業者が保管しているワカメの種系について、水産技術センターが顕微鏡で確認を行ったところ、その生育状況は良好でした。成長段階に合わせた明るさで種系を保管する必要があるため、すだれやよしずを用いてワカメの種系を保管している小屋の明るさを調整しました。
- 5月29日、今季は小田原～真鶴にかけての刺網・潜り漁業で、サザエが豊漁です。藻場の調査で岩礁域に潜水した際にも例年より多くサザエが分布していると感じます。毎年サザエの種苗放流を実施しており、関係者の努力が豊漁の一因となっていると思われます。



岩地先の磯根に生息するサザエ

●お知らせ

- 6月20日9時から、茅ヶ崎市漁協は茅ヶ崎漁港で毎年恒例の「さかなの市」を開催します。当日は、漁次第ですが朝どれのアジ、サバ、ヒラメ、マゴチ等の地魚や湘南しらす（生しらす）等を直売し、昨年好評だったサザエのつかみ取りも実施予定だそうです。茅ヶ崎地先の地魚が勢ぞろいするので、是非いらして下さい。